

令和6年度

学校コンサルテーション

児童生徒一人一人について生徒指導、特別支援教育等の視点から一緒に考えます

生徒指導、特別支援教育に関して取組を充実させたい……。
困難さのある児童生徒へのケアを充実させたい……。
そんな学校の悩みについて、**校内体制の整備、取組の充実、
課題解決に向けた支援策**等の視点から一緒に考えます。



不登校傾向の児童生徒への支援について、継続的に伴走します



Point

生徒指導に関すること

- 学級の荒れ、不登校などの具体的なケースについて
- 児童生徒の自己肯定感を高め、互いに支え合い、高め合う集団にしていくためのポイントについて
- 教師と児童生徒の信頼関係づくりについて

特別支援教育に関すること

- 特別支援学級において、児童生徒の実態に応じた授業や自立活動の指導について
- 支援を必要とする児童生徒理解及び、個々の実態に応じた指導・支援の在り方について
- 通常学級において、児童生徒の困難さに応じた授業づくりについて



説明スライドは
こちらをクリック!!



まずはお電話でお問い合わせください。

岡山県総合教育センター 教育支援部

(TEL) 0866-56-9106

学校コンサルテーションの「申込み」から「実施」までの流れ



© 岡山県「ももっち」

県立学校

学校（管理職）

市町村立学校

事例の概要及び支援ニーズなどを整理

岡山県総合教育センター 教育支援部
(TEL 0866-56-9106)
事例の概要及び支援ニーズを確認

市町村教育委員会

- 日程及び内容等の調整【管理職 又は 校内担当者と センター指導主事等】
- 「派遣申請書（様式1）」をメールで送付
(県総合教育センター 教育支援部代表メール kyoikuse19@pref.okayama.lg.jp)
- 実施日の原則 2週間前までに
- 「事例に関するシート（様式2）」の作成・提出（配達記録が付くもの（簡易書留等）で郵送）
(必要に応じて、児童生徒の様子が分かるものを同封)

学校コンサルテーションの実施

- 12月頃に、「振り返りシート」に記入し、メールでセンターに送付

学校コンサルテーション後の声（管理職）

- ・「なぜこの行動につながるのか」と、児童の行動に背景にあるものをチームで考え、チームで支援する体制につながった。(小学校)
- ・生徒の理解が深まり、見通しをもちやすくしたり伝え方を工夫したりしながら授業づくりを進めるようになった。(中学校)
- ・授業において指示の出し方を工夫するようになり、学習面でのつまづきが減少している。(高等学校)
- ・生徒指導と特別支援教育の視点から、指導・支援の方向性を教職員で共有し、個や集団への指導や支援を粘り強く行っている。(特別支援学校)

[本件に関する問い合わせ] 岡山県総合教育センター 教育支援部

TEL : (0866) 56-9106

FAX : (0866) 56-9126

E-mail : kyoikuse19@pref.okayama.lg.jp